

新公立病院改革プラン・公的医療機関等 2025 プランの概要

【医療機関名】 地方独立行政法人長野市民病院

項目	内容
1 現在の医療機能	<p>(1) 病床機能ごとの病床数 一般病床 400 床：高度急性期 195 床、急性期 205 床</p> <p>(2) 病院の役割（施設基準等） 救急告示病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、基幹型臨床研修病院、DPC 病院、長野地域病院群輪番制病院、病院機能評価認定病院、卒後臨床研修評価認定病院、人間ドック健診施設機能評価認定病院、臨床修練病院</p> <p>(3) 算定する入院基本料及び特定入院料 一般病院入院基本料（7 対 1 入院基本料） 特定集中治療室管理料 1、ハイケアユニット入院医療管理料 1、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児入院医療管理料 4、地域包括ケア病棟入院料 1</p> <p>(4) 診療科目 内科、神経内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、緩和ケア内科、小児科、外科、消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科（平成 29 年 4 月 1 日標榜）、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科（平成 29 年 4 月 1 日標榜）、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科 （計 33 科目）</p> <p>(5) その他の機能 訪問看護ステーション、長野市民病院・医師会 急病センター、長野市在宅医療・介護連携支援センター</p>
2 医療機関が抱える課題	<p>(1) 地域医療構想を踏まえた果たすべき役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域医療支援病院として、かかりつけ医や地域の医療機関との機能分担と連携を強化し、地域完結型医療を推進する。 ○地域がん診療連携拠点病院として、がん集学的治療を推進し、高度専門的ながん診療の提供を図る。 ○365 日 24 時間救急医療を提供し、長野医療圏北部の救急医療の拠点としての役割を果たす。 ○脳卒中や虚血性心疾患、糖尿病、四肢外傷などに対する高度で専門的な治療の提供を図る。 ○訪問看護の体制強化や地域包括ケア病棟開設を通し、

	<p>急性期後の療養及び在宅復帰支援の機能充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口減少、少子・高齢化対策や中山間地域対策など、これからの時代を見据えた市の政策と協働し、小児救急や小児専門医療、並びに不妊治療などの医療提供体制の充実を図る。 <p>(2) 地域包括ケアシステム構築に向けて果たすべき役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ○退院調整機能の強化により、地域の医療介護福祉関係機関との円滑な後方連携を図る。 ○地域と緊密に連携しつつ、24 時間体制を維持しながら訪問看護の更なる充実を図る。 ○主治医をはじめとする多職種協働により、患者・家族に対し、在宅復帰に向けた支援を行う。 ○在宅医療を支えるかかりつけ医と連携し、365 日 24 時間、在宅患者等の緊急時の入院受け入れに対応する。 ○「長野市在宅医療・介護連携支援センター事業」を通して、地域の医療・介護事業者に対する情報提供並びに研修の実施等を行う。
<p>3 課題を踏まえた将来の医療機能・担うべき役割</p>	<p>(1) 病床機能ごとの病床数 一般病床 400 床：高度急性期 195 床、急性期 205 床</p> <p>(2) 平成 37 年（2025 年）における具体的な将来像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現状の高度急性期機能及び急性期機能を維持しながら高度専門医療を提供し、機能分化と連携により、長野医療圏はもとより北信地域全体の基幹的な公立病院を目指す。 ○地域の医療機関や介護サービス事業所等との連携及び役割分担を一層推進し、高齢者等の急性期患者及び急性期後の患者に対する医療提供体制の充実を図る。 ○訪問看護の充実や地域包括ケア病棟の有効活用等により、在宅医療を積極的に支援する。 ○人口減少、少子・高齢化対策や中山間地域対策など、これからの時代を見据えた市の政策と協働し、小児救急や小児専門医療、並びに不妊治療などの医療提供体制の充実を図る。 ○市の健康福祉部門と連携しながら予防医療の充実を図り、がん、その他生活習慣病の早期発見・早期治療を推進する。
<p>4 将来に向けた取り組みスケジュール</p>	<p>(1) 第 1 期中期目標期間（平成 28 年度～平成 30 年度） 地方独立行政法人として経営基盤の確立を図るとともに、急性期医療の充実及び在宅医療の支援を行う。</p> <p>(2) 第 2 期中期目標期間（平成 31 年度～平成 33 年度） 検討中</p>

5 数値目標	<p>平成 30 年度の数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○救急搬送受入件数 (件) 4,585 ○がん新入院患者数 (人) 3,340 ○紹介率 (%) 76.0 ○逆紹介率 (%) 75.0 ○訪問看護訪問件数 (件) 5,840 ○クリニカルパス適用率 (%) 44.0 ○入院患者総合満足度 (%) 95.0 ○外来患者総合満足度 (%) 90.0 ○経常収支比率 (%) 102.9 ○医業収支比率 (%) 93.9 ○対医業収益給与費比率 (%) 56.1 ○対医業収益材料費比率 (%) 24.3 ○対医業収益経費比率 (%) 16.0 ○後発医薬品採用率 (%) 85.0 ○新入院患者数 (人) 10,900 ○平均在院日数 (日) 10.7
--------	---